

地域おこし協力隊通信

No.14

～どんだんかわれ、江府町！～



《町おこし班》

江府小学校5年生の田植え体験に参加してきました。

雨宮、江府町民2年目にして人生初の田植え経験でした。未経験の私は子ども達から「田植え去年もやったから余裕だし」「えー田植えやったことないだ？」等と言われました。田植えをするという経験は私が住んでいた地域では経験出来ないことです。子供の頃からお米が育っていく様子を身近に感じられる江府町。私も自分の手で植えた苗がどんなお米に育つか楽しみです。（雨宮）

近年は農業の機械化によって手植えをすることが少なくなってきているので、こういった手植えを経験出来る機会はすごく貴重であり、お米を作る大変さを身に染みて感じました。（上谷）



《農業支援班》

こんにちは、農業支援班の長田啓です。

今回は、農業公社にて4月から活躍している二人の協力隊員を取材に行ってきました。長身でさわやかな好青年・男性隊員の圓山さんと、物静かで穏やかなのに田植え機にも搭乗するガッツのある女性隊員の藤井さんの二人です。取材に伺った5月27日は江府中学から職場体験の受け入れの日でした。中学2年生の森田純平さんと浜田恵太さんが、農業公社が管理する田んぼにて補植（田植え機で植えきれなかった場所を手作業で田植えする作業）をしていました。

農業公社に芽生えた協力隊という新しい2つの芽、今後どんなふうに活躍されるのでしょうか？それぞれの形を描けるといいですね。（ながた ひらく）

